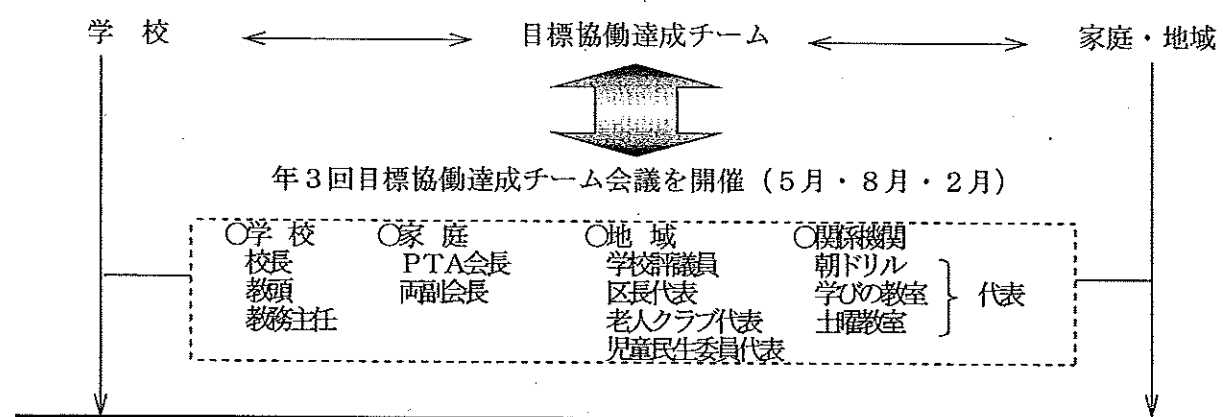


9. 保護者、地域と協働して達成する目標—目標協働達成モデル校—



学校・家庭・地域が協働して達成する 重点目標 ＜総合的に育つ子どもの育成＞		
達成指標 (具体的な数値目標)		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 全学年とも、全児童の各学期毎の国語、算数、理科の各単元テストの正答率を75%以上 ■ 国東市標準学力テストで、全学年で全児童の正答率を1割向上 		
重点取組 (そのために重点的に取り組むこと)		
家庭	学校	地域
①＜授業改善＞ ②＜ドリルの充実と個別指導の徹底＞ ○ 朝ドリルのサポーター、学びの教室等の指導者として参加協力する ③＜家庭学習時間の向上＞ ○ やる気を育てる声かけが運動に取り組む ○ ノーテレビ・ノーゲームに取り組む	①＜授業改善＞ ○ 考えさせる場を適切に位置づけ、交流とまとめを大事にする授業を徹底する ②＜ドリルの充実と個別指導の徹底＞ ○ 朝ドリルの充実と個別指導の徹底によりつまづきを改善する ③＜家庭学習時間の向上＞ ○ 家庭の学習時間を向上する	①＜授業改善＞ ○ 学校公開日に積極的に授業参観を行う ②＜ドリルの充実と個別指導の徹底＞ ○ 朝ドリルのサポーター、学びの教室等の指導者として参加協力する ③＜家庭学習時間の向上＞
取組指標 (具体的に取組む内容)		
家庭が取り組むこと	学校が取り組むこと	地域が取り組むこと
①＜授業改善＞ ②＜ドリルの充実と個別指導の徹底＞ ○ 毎週火・水の朝ドリルの時間に学習サポーターとして参加協力する ○ 毎週水曜日の放課後学びの教室月1回実施する土曜教室に指導者として参加協力する ③＜家庭学習時間の向上＞ ○ 1週間に1回、連絡ノートにやる気になった言葉やその反応を記し、担任と交流する ○ 毎週水曜日、ノーテレビ・ノーゲームに取り組む（レベル3を中心に）	①＜授業改善＞ ○ 管理職による授業観察を毎日行う ○ 各学期互見授業1回、年に1回全員公開授業を実施する ○ 毎学期末毎に、子どもによる授業評価を実施する ②＜ドリルの充実と個別指導の徹底＞ ○ 朝の滞時間の20分間ドリルを実施する 月-極語（音読・言語事項） 火-算数（計算・文章題） 水-極語（長文） ○ 個々の学習カルテ（国語）を作成し、個別指導に活用する ○ 全学年とも、月火木金の放課後の時間に個別指導を行う ③＜家庭学習時間の向上＞ ○ 毎月、担任が家庭学習時間が確保されているか、月はじめ一週間の生活見直しカードをチェックし指導する 低→20分 中→40分 高→60分 ○ 2ヶ月に一度、児童が家庭学習力チェックリストをもとに点検を行う	①＜授業改善＞ ○ 各学期2回ずつ（5月・6月・10月・11月・1月・2月）行う学校公開日に各区、各老人クラブ（5地区）より毎回3名ずつ以上、学校評議員、児童民生委員より毎回3名ずつ以上、計33名以上授業参観を行う ○ その都度、できるだけ授業の様子や子ども達の様子についてアンケートに答え、提出する ②＜ドリルの充実と個別指導の徹底＞ ○ 毎週火・水の朝ドリルの時間に学習サポーターとして参加協力する ○ 毎週水曜日の放課後学びの教室月1回実施する土曜教室に指導者として参加協力する ③＜家庭学習時間の向上＞

<目標協働達成>

平成26年度1学期「学校公開」・アンケート結果集約

国東市立竹田津小学校

1. 取組状況 ◆実績

(1) 参観者数

- 第1回目
5月28日(水) 2・3校時 → 地域の方 36名 保護者 9名 計45名
- 第2回目
6月27日(金) 2・3校時 → 地域の方 30名 保護者12名 計42名

*1回目、2回目の参観者の内訳(地域の方のみ)

- 1回目、2回目どちらも参観した人数 → 計21人
- 1回目、2回目どちらかに参観した人数 → 一回目15人 二回目9人 計24人

(2) アンケート提出者数(地域の方のみ対象)

- 第1回目 24名/36名 66.6% 第2回目17/30名 56.6%

(3) アンケート内容(抜粋)

<第1回目>	> <第2回目>
<p><授業感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年～6年までの学年らしさが大変おもしろく、また、先生も大変だと思いました。 ・楽しい授業公開でした。テレビの授業は分かりやすいと思いました。1年生の野菜の授業は難しい、先生のご苦勞に頭が下がります。頑張ってください。お願いします。 ・どの教室でも、先生方が工夫して子ども達も楽しく学習できている様子で、久しぶりの参観が楽しくなりました。次回も参観したいと思います。 <p><学習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力、記憶力、思考力を低学年より高学年へ成長に応じて勉強をしているのがよく分かりました。 <p><指導法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を活用した進め方で、大変感動しました。教材を大いに作ってもらいたい。 ・基本を大切にして、それから創作創造が大事かと。 <p><学習態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・声が小さい。 ・行儀が悪いなと思った。 ・先生達あまりしからないので、少しさびしい。 	<p><授業感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年の国語で、「ぼくわたしの枕草子」自ら考え学ぶ力が養われる授業と思い素晴らしい取組を評価します。一人ひとりの成長が伺えて良かった。 ・1年生の算数の授業はなかなか考える力のある授業でした。わかりやすくおもしろかった。 <p><指導法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え、答えを発表させることで自信とやる気を増していることで成長が見える。自発的に述べさせることが良かったと思う。 <p><学習態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習態度が良くなってきたと思う。 ・声が小さい。皆に分かるように心がけて欲しい。 ・学習に取り組む意気込みは、前回より感じた。 ・挨拶は大きい声で元気よくしております。授業では手は良く上がるが、発表の音が小さく聞き取りにくい。もっと自信を持ってもらいたい。 ・生徒数が少ないためか、全般的に声が小さい、やや活気がないように思われた。 ・大きな声を出すことによって、大きな自信が培われるので、心がけて欲しい。 ・なにぶんにも児童数が少なすぎて中学入学まで大変だと思います。協調性と競争心の葛藤が難問と思いました。

2. 成果と課題

<成果>

- 地域における人間関係の広がり、地域コミュニティーの形成
- 個々の生き甲斐作り
- 地域の活性化

<課題>

- △学校公開の地域への更なる浸透や広がり
- △授業参観後のアンケート提出率の向上

3. 取組指標の効果（有効性）

<取組指標>

学校公開日に授業参観（地域より33名以上）を行う
授業参観後にアンケートを提出する → どう授業改善に作用したのか

(1) 学校評価アンケート結果（肯定的割合）より

- 児童アンケート
「授業がよく分かるか」 → 94%（昨年末81%）
- 保護者アンケート
「基礎的な学力が身につく指導を行うとともに、楽しく分かりやすい授業を行っているか」 → 84%（昨年末73%）
- 教職員自己評価
「家庭と連携した学習習慣の取組ができているか」 → 94%（昨年末87%）

<目標協働達成>

平成26年度一学期 朝ドリル等学習サポーター 取組集約結果

国東市立竹田津小学校

1. 取組状況 ◆実績

	朝ドリル・教科 学習サポーター	算数 (毎週火曜日)		国語 (毎週水曜日)	
		保護者	地域	保護者	地域
5月	7日(水)			1	2
	13日(火)	3			
	14日(水)			2	
	20日(火)	3	1		
	21日(水)			3	1
	27日(火)	2			
	28日(水)			2	2
6月	3日(火)	3	1		
	4日(水)			1	2
	10日(火)	2	1		
	11日(水)			1	2
	17日(火)	2	1		
	18日(水)				2
	24日(火)	2	1		
25日(水)			2		
7月	1日(火)	2	1		
	2日(水)			1	2
	8日(火)	1	1		
	9日(水)			2	1
	15日(火)	2	1		
	16日(水)			2	1
合計(延べ人数)		22	8	17	15

2. 成果と課題

<成果>

- 学習内容その傾向や進度等の把握
- 児童理解(良さ)の促進
- 学習サポーターとして活動意欲の醸成

<課題>

- △学習サポーター(地域の方々)の不足
- △効果を上げる為の教職員・学習サポーターとの意思疎通や共通理解

3. 取組指標の効果(有効性)

<取組指標>

毎週火・水の朝ドリルの時間に学習サポーターとして参加協力する

→ どうドリルの充実と個別指導の徹底に作用したのか

(1) 学校評価アンケート結果(肯定的割合)より

- 児童アンケート
「朝ドリルの勉強は自分のためになっているか」 → 94% (昨年末84%)
- 保護者アンケート
「先生は、つまずきなど個別によく指導しているか」 → 77% (昨年末70%)
- 教職員自己評価
「弱点を克服する朝ドリルの運営ができていますか」 → 95% (昨年末95%)
「つまずき改善の放課後等の個別指導ができていますか」 → 96% (昨年末94%)

<目標協働達成>

平成26年度一学期 毎週月曜日ノーテレビ・ノーゲーム取組集約結果

国東市立竹田津小学校

1. 取組状況 ◆実績

- ・レベル2→夜9時以降はTV見ない・ゲームしない
- ・レベル3→1日TV30分・ゲーム30分以内
- ・レベル4→帰ってからTV見ない・ゲームしない

	期 日	守れた割合	レベル2	レベル3	レベル4
5月	19日(月)	93.5%	6人	18人	5人
	26日(月)	93.5%	6人	17人	6人
6月	2日(月)	89.6%	1人	16人	8人
	9日(月)	86.2%	3人	16人	6人
	16日(月)	82.7%	2人	15人	6人
	23日(月)	75.8%	2人	14人	4人
	30日(月)	65.5%	1人	13人	6人
7月	7日(月)	86.3%	1人	12人	6人
	14日(月)	86.3%	4人	7人	8人
平均		84.3%	2.8人	14.2人	6.3人

2. 成果と課題

<成果>

- 我が子にじっくりと向き合い、子育ての重要性を再認識(意識変化)
- 家族全員で、協働して目標を達成しようとする機運が醸成
- 親子のふれあいやコミュニケーションの活性化
- 習慣化に繋がってきている

<課題>

- △取組レベルの差(個人差や学年差)
- △家庭学習時間の確保とその質の向上
- △他の曜日へ生かし、広げるための方策

3. 取組指標の効果(有効性)

<取組指標>

毎週月曜日ノーテレビ・ノーゲームに取り組む

→ どう家庭学習時間の向上に作用したのか

(1) 家庭学習時間(生活見直しカード結果より)

1年→17.3分(昨年末19.5分) 2年→27.3分(昨年末29.5分)
 3年→32.0分(昨年末36.5分) 4年→38.0分(昨年末44.5分)
 5年→65.0分(昨年末49.0分) 6年→69.3分(昨年末50.0分)

(2) 学校評価アンケート結果(肯定的割合)より

○保護者アンケート

「この子は、家庭学習習慣がついてきている」 →70%(昨年末30%)

○教職員自己評価

「家庭と連携した学習習慣の取組ができているか」 →94%(昨年末87%)

<目標協働達成>

平成26年度 子どもが「やる気」になった声かけメモ等一覧

H26. 7. 3

国東市立竹田津小学校

1. 親子の活動に誘う「声かけ」
 - 将棋がしたいから、一緒にしようよ
2. 約束事を決めて取り組ませる「声かけ」
 - サッカーなど用事がある日は、早めに宿題をすることを約束している
 - 1時間すぎると、次の日はできないよと声かけをしていた
3. 褒めてその気にさせる「声かけ」
 - 体を使って上手にフラフープができるので、ほめてフラフープに集中させた
たまには、ゲームなどしないでフラフープしようと声かけをした
4. 一日のタイムスケジュールや計画を立てて、見通しを持たせる「対応」
 - 朝、今日一日の段取りやスケジュールを立てさせる
5. 役割を与えて、生活のリズムを整える「方法」
 - 家で、生き物の世話をする係を与えている
 - 〃、草取り等の手伝いをさせている
 - 家の手伝いを兄弟姉妹でさせている
6. 子どもの気持ちを受け止める「接し方」
 - あまり言うと、うるさいと不機嫌になった。これからは、本人の気持ちを理解する
ようにしなければと思う
7. 子どもの自主性と自覚を促す「接し方」
 - 自分のことは自分でする、毎日ベットきれいにする